

越谷市 手をつなぐ育成会だより やまびこ

編集 越谷市手をつなぐ育成会

会長 高野 淑 恵

〒343-0021 越谷市大林235-9

TEL・FAX 048-977-1908

発行 公益社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会

理事長 高野 淑 恵

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂

2-15-3 母子福祉会館内

TEL 048-833-0444

FAX 048-833-0400

発行日 令和2年12月31日

購読料 20円は会費に含む



『いつもと違う新年に……』

越谷市手をつなぐ育成会 会長 高野 淑 恵

あけましておめでとごいせいです。
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げ
ます。

新型コロナウイルスに罹患された皆
様には一日も早く快復されますことを
お祈り申し上げますと共に、亡くなられ
た方々のご冥福をお祈り申し上げます。
また医療従事者の皆様のご尽力に心
から感謝申し上げます。

昨年はコロナに明け暮れた一年でし
たが、今年はコロナ終息の年になります
ようにと願ってやみません。

コロナ禍のなか、旅行をはじめ社会体
験事業など、本人たちが外に出る行事は
もちろん、地域との交流を目的とする行
事も密を避けるためにすべて見送るし
かありませんでした。それでも本人たち
は毎日マスクをすることを覚え、内心で
は、去年の今頃は旅行に行っていたよね
、川遊びもあったよね、と思ってい
たとしても、とても潔く受け入れていま
した。うんざりしたりイライラしたりす
るのは、むしろ私たちの方でした。知的
に障害があっても彼らや彼女たちは想
定以上に順応性が高く、一度生活パター
ンとして覚えたことはとても良く守り
ます。

コロナ禍による雇止めで職をなくさ

れた方の中には、先の見えない不安に
取り込まれて、自ら命を絶った方も昨
年は大変に多かったそうです。先が見
えないのは幸も不幸も同じなのに、不
幸の方だけが人の心を侵食し、生きる
気力を奪ってしまうのでしょうか。
残念ですね、悔しいですね。かけが
いのない命なのに。

今日も明日も真っ暗な闇の中にいる
かもしれないが、必ず、きつと明る
い日は帰ってきます。私はそう信じま
す。私の息子は現在三十六歳です。そ
れは私が母親として生きてきた年数で
す。その時間の中には、絶望という名
の真っ暗な淵をのぞき込んでいた時間
もたくさんありました。

眠れない夜、雨の降り続く夜だけでな
く、雲一つない青空の夏の日や満開の
桜の木の下にいてさえ、絶望の鋭い爪
に私の心臓がわしづかみにされること
もありました。真っ暗な淵の中に落ち
込んでいかなかったのは、なぜだった
のだろうと、未だに不思議に思うこと
があります。それは息子の笑顔だっ
たり、無垢な寝顔だったり…。闇の中
にも小さな灯りでありました。

いつでも、どんなときでも、息子は
小さな命を100%、こんなに未熟

な母親にゆだねていました。

ゆだねられた命は、自分の命より重く
愛しいものであると少しずつ知ってい
きました。障害があってもなくても、生
まれてきた命は奇跡のたまものです。自
ら断ち切るようなことはしないでくだ
さい。生きていけば、つらい時も苦しい
時もあります。人生にはどうにもならな
いことがたくさんありますが、それでも
自分で選べることは必ずあります。「生
きる」ことを、先ずは選んでください。

『闇の中を友と歩むのは、光の中を
ひとりで歩くよりいいものだ』
ヘレン・ケラーの言葉です。彼女の闇
がどのようなものであったか、私たちに
は想像もできませんが、あらゆる苦難と
孤独を超越した彼女の人生は、障害者と
してではなく一人の人間として「天晴れ
(あっぱれ)な人生」であったと尊敬で
きます。

コロナのせいで、まだまだ息苦しい
日々が続きますが、友と歩み、一緒に乗
り越えていきましょう、私たちの息子や
娘たちのために。この子らの幸せな人生
のために。それまでは、会食も宴会も我
慢しまししょう(でも、おひとり様十万円
のステーキって、食べてみたいですよ
ね)。

千草園だより

あけましておめでとござ
います。昨年は「新しいスタイ
ル」を模索しつつ過ごした日々
でした。そんな十月から十二月
の活動をご報告いたします。

スポーツ教室



十月二十日(火)越谷市教育
委員会スポーツ振興課主催の
『障がい者スポーツ教室』に参
加しました。感染対策として、
千草園のみの参加となり、久し
ぶりの体育館で思いっきり身
体を動かし、楽しんできました。
運動の先生のご指導のもと、ス
トレッチエクササイズや障害
物サーキット等で皆さんいい
汗をかいていました。



ハロウィンパーティー



十月三十日(金)に十月のお楽
しみ会『ハロウィンパーティー』
を行いました。千草園初のハロ
ウィンです。皆で、ちよっと怖
い飾り付けをし、オープニング
では、ジャックオーランタンの
登場で利用者さんもザワつき
ました。そして「ハッピーハロ
ウィン☆」の掛け声で乾杯。パ
ーティーオードブルを美味し
くいただきました。



バーチャル工場見学



十一月二十七日(金)に十一月の
お楽しみ会『バーチャル工場見
学・パイの実を作ろう』を行いま
した。「千草園で工場見学」
と皆さんも興味津々でした。ま

ずは工場生産ラインの見学で
す。パイの実の出来るまでを動
画でじっくり見学しました。

次に、パイの実作り
開始です。パイ生地
を型抜き、チョコレ
ートを挟み丁寧に
閉じて焼き入れました。皆さ
ん、受注作業より真剣でした。
そしてパッケージを作り、完成
です。皆さん、出来立てを美味
しそつに食べていました。



クリスマスパーティー



十二月二十五日(金)千草園ク
リスマスパーティーを開催し
ました。本来なら、日頃お世話
になっている方々をお招きす
る「クリスマス地域感謝祭」と
なるはずでしたが、今回は利用
者さんと職員での開催となり
ました。それでも、楽しい時間

を作り大いに盛り上がろう！
をテーマに皆で飾り付けをし、
パーティーメニューを作った
り、アトラクションやプレゼン
ト、ケーキでティータイム等盛
りだくさんのパーティーとし
た。来年は、沢山のお客様と一
緒に盛大に開催出来るように
と願うばかりです。(西間庭)



新任職員の紹介



はじめまして、**阿野圭悟**です。
これから千草園で職員として
お世話に
なります。
特技は、
絵や工作が
得意です。



野の花だより



【お楽しみ会】

十月十六日(金)のお楽しみ会では、前半後半に分かれポイント制の魚釣りゲームとボウリングを行いました。ポイント制なので沢山釣っても合計ポイントが低かったり、少ししか釣れなくても高ポイントだったり、接戦を繰り広げていました。



【土曜通所日】

十月二十四日(土)は、通所日でした。午前中は皆で肉や野菜を食べやすい大きさに切って、野の花でバーベキューをしました。利用者さんと一緒に作った焼きそばの味は絶品でした。



【お楽しみ会】

十一月二十日(金)には、お楽しみ会がありました。午前中は、おやつを購入する班と、昼食のサラダを作る班に分かれました。午後は事前に選んだガストのお弁当を食べた後、しらこぼとホールに移動し、映画鑑賞をしました。

【土曜通所日】

十一月二十八日(土)の通所日は調理実習でした。みんなが広島風お好み焼きを作りました。ソースのいい匂いに待ちきれず、お皿を持って受け取りに並んでいる姿がとても微笑ましかったです。午後は散歩をしながらジュースを購入し、ゆっくりと過ごすことが出来ました。



【土曜通所日】

十二月十九日(土)の通所日は、調理実習で作ったキーマカレーをナンに付けて食べました。初めてナンを食べる人も多く、食べやすいように小さくちぎったりしながら、美味しく楽しい時間を過ごしました。

【クリスマス会】

十二月二十三日(水)は、皆さんが待ちに待ったクリスマス

会でした。ミニゲーム、景品のお菓子、選んでいただいた好みのお弁当等に、皆さんの気分は上々でした。クリスマスパーティーのミュージックセラピーでは、音に合わせリズムをとったり、演奏したりと楽しみました。また、皆さんがクリスマスケーキの種類に悩みながら、選ぶ時間も楽しい思い出になりました。



昨年は、新型コロナウイルスの影響もあり、厳しい年となりましたが、利用者さん達は毎日笑顔を見せてくれました。今年は、更に皆様の笑顔が見られすよう、楽しい行事を考えていきたいと思えます。今年もどうぞよろしく願い致します。

(山田)

会計報告

《 寄 付 》	55,000 円
・鈴木 章 様	
・匿名 様	
《 賛助会費 》	5,000 円 (5 口)
《 売上金 》	
・ホリウチ (うどん等)	5,400 円
・わかめ	5,500 円
・ご ま	700 円
・お 茶	9,720 円

ご支援ありがとうございます



千草園クッキー ご購入 ありがとうございます

小林 公弘 様
堀 良子 様
中村 甫尚 様
越谷市立中央中学校
渡辺 様
(順不同)

◇賛助会員紹介◇

中村 甫尚 様

よろしく願いいたします

◇◇ 編集後記 ◇◇

本年もよろしくお願いいたします。
「マスクは嫌い」「手洗いは苦手」でも
「お出かけ大好き」な利用者さんたちにも
昨年は我慢の一年でした。厳しい制約の中で
安全で楽しい活動が送れたのは、職員さんや
ボランティアさんの創意工夫と努力のおかげです。マスクのご寄付や様々なご支援も
多くの方々にいただきました。心より感謝申
上げます。当たり前前の日常が一日でも早く
戻ることを願って。 (猪鼻 孝子)

クリスマス会に お菓子を ありがとうございました

清松クリニック 様